

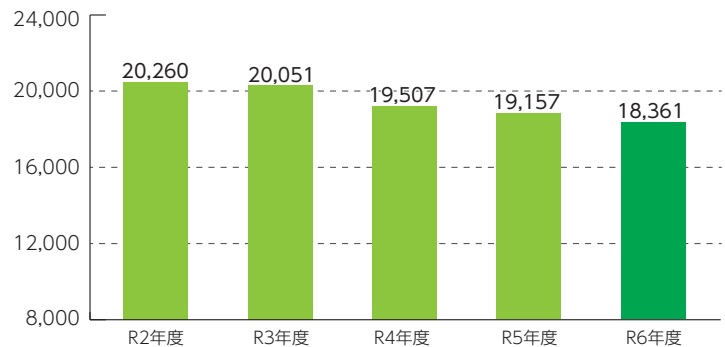
令和6年度業績の概要

■ 貯金残高

JAの自己運用残高の増加にともない前期比795億円減少し、1兆8,361億円となりました。

〈貯金残高の推移〉

(単位：億円)

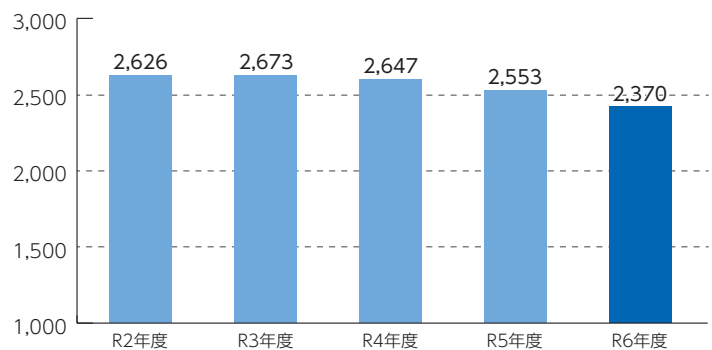


■ 貸出金残高

地方公共団体に対する貸付が増加したものの、金融機関向け貸付が減少した結果、全体では前期比182億円減少し、2,370億円となりました。

〈貸出金残高の推移〉

(単位：億円)

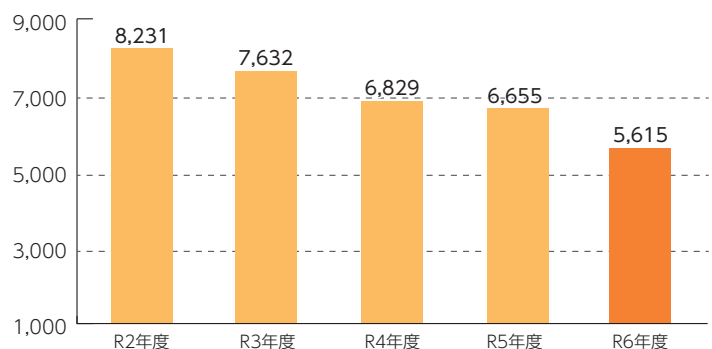


■ 有価証券残高

ポートフォリオの改善に向けて、低利回り債券の売却を進めた結果、前期比1,039億円減少し、5,615億円となりました。

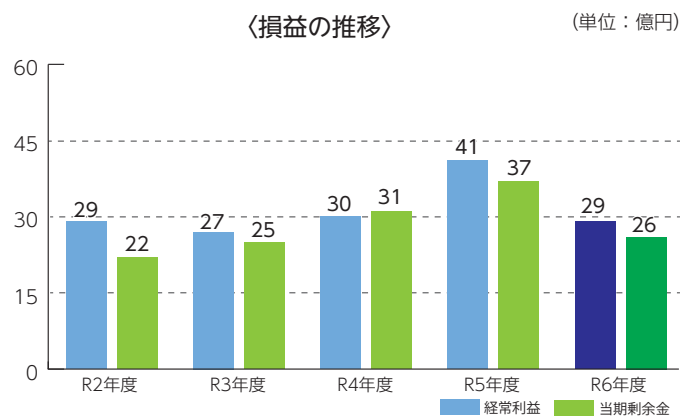
〈有価証券残高の推移〉

(単位：億円)



■ 損益

金利上昇にともない貸出金や有価証券などの運用益が増加した一方、調達コストの増加等により、経常利益は前期比11億円減少し、29億円、当期剰余金は前期比10億円減少し、26億円となりました。



■ 自己資本額・自己資本比率

自己資本額が前期比で増加し、1,304億円となったことに加え、運用資産残高の減少によりリスク・アセットが減少した結果、自己資本比率は前期比0.70ポイント上昇の14.13%となりました。

